月刊 FALCOM MAGAZINE

Vol. 181



まだチョコレートは間に合いますか……？
も～っと集まれ！ ファルコム学園

英雄伝説 空の軌跡
&
啄木鳥しんきのFalcom日和

『Falcomアクースティックス 3』レビュー

ファルコムニュース

英雄伝説 零の軌跡 午後の紅茶にお砂糖を

首都・京都に異界・ザナドゥが出現！

『京都ザナドゥ -桜花幻舞-』



FALCOM MAGAZINE

CONTENTS

2 目次

4 首都・京都を舞台に異界を巡る旅が今始まる！
『京都ザナドゥ -桜花幻舞-』

16 も～っと集まれ！ ファルコム学園
新久保だいすけ

26 ファルコムニュース

28 『Falcomアクースティックス 3』
レビュー

31 英雄伝説 空の軌跡
啄木鳥しんき

60 啄木鳥しんきのFalcom日和

62 英雄伝説 零の軌跡
午後の紅茶にお砂糖を
著：むらさきゆきや イラスト：窪茶

『京都ザナドゥ -桜花幻舞-』2026年夏 発売決定！



日本国――首都《京都》。

バッグを背負い、夜の雅（みやび）な歓楽街を駆け抜ける少年の姿がそこにあった。

神矢　伶（カミヤ レイ）

ある目的のために裏社会から大金をかすめ取り、ヤクザたちの追撃を躱していたレイだったが
突如として街中に出現した異空間に呑み込まれ、異形の怪物たちに襲われてしまう。
『待ってる奴が、いるんだよ……
　こんな所で死んでる暇なんか、ねぇんだ！！』

大切な存在の姿が脳裏をよぎった刹那、絶叫と共に光に包まれていくレイの身体。
その光はいつの間にか二本の刀となり、レイの手に握られていた。
『……何故か解（わか）る。
　これが何のための物か、どう振るえばいいか。』

覚醒（めざ）めた力を振るい、からくも窮地を切り抜けるレイだったが
巨大な異形の化物を倒した直後に気を失ってしまう。

レイが目を覚ましたのは、見知らぬ古風な屋敷の一室。
年端もいかぬ侍女に案内されるがまま、レイが向かった先には自らを“当主”だと名乗る
謎めいた仮面の女性が待ち受けていた。

『私と取引をしましょう。』
レイが遭遇した異空間や怪物、レイの身に起きた現象を何故か知っていた当主はある奇妙な提案を持ちかける。

それは、
《適格者（てきかくしゃ）》として覚醒（めざ）めた者だけが入学できるという
「比良坂学園」への転入であった――。

『京都ザナドゥ - 桜花幻舞 -』公式サイト
https://www.falcom.co.jp/kyoxana/

●発売日：2026年夏　●ジャンル：デュアルディメンショナルARPG
●対応機種：　Nintendo Switch™ 2、Nintendo Switch™、PlayStation®5、Steam®　●価格：未定

神矢伶 Rei Kamiya

（CV：石橋陽彩）



年齢：17歳
装魂霊具：打刀&脇差型

ある出来事がきっかけで比良坂学園に通うことになった17歳の高校生。
少年らしさを残しつつも、すべてを見透かしたように飄々と振る舞い、良くも悪くも周囲の人々を翻弄しながら自分のペースで行動している。
転入初日に「比良坂大迷宮を完全攻略してみせる」と大見得を切り、クラスメイトから失笑されてしまったが決してホラを吹いたわけではなく、上を目指すための足場として有能な生徒を時に強引に、計略も使いながら次々と仲間に引き込んでいく。







六道楓華 Fuka Rikudo

（CV：林鼓子）

「兄への憧れなど――
はるか昔に捨てています。」



年齢：17 歳
装魂霊具：薙刀型

レイと同じクラスに在籍している、比良坂学園の二年生。
黒髪のストレートが似合う和風美人で、物静かで生真面目な性格。
京都の名家《六道家》の長女として優れた資質を持つが、生徒会長でもある圧倒的実力者の兄・真之（マサユキ）への複雑な想いから、自らを押し殺し、目立たないようひっそりと学園生活を送っていた。
そのため周囲からは「出来損ない」のレッテルを貼られ、それに甘んじてきたがレイの転入が彼女に大きな変化をもたらすことに。







百鬼千騎 Kazuki Nakiri

（CV：鈴木崚汰）

「獲物はテメェだ！
武器も身体も粉々に磨り潰してやらァ!!」



年齢：18 歳
装魂霊具：戦斧型

比良坂学園で恐れられている一匹狼タイプの不良の先輩。
内に秘めた獰猛な破壊衝動を発散するために迷宮で戦っているが､妹の千奈(セナ）を守るためなら相手が人間だろうが暴力を振るうことを躊躇しない。
粗暴に見えるが地頭はよく、迷宮攻略時には戦略的な行動を選択することが多い。







百鬼千奈 Sena Nakiri

（CV：鈴代紗弓）

年齢：18 歳
装魂霊具：メイス&盾型

千騎（カズキ）の双子の妹で、人当たりがよく女子力高めな先輩。
レイに対して普段はお姉さんぶりつつも、恋愛面では早とちりし過ぎて自爆してしまうようなところも。
中学時代に経験したある出来事がきっかけで他者と必要以上に親しくなることを恐れているらしく、カズキとの間にも何らかのトラブルを抱え込んだ状態で学園生活を送っている。



「ん〜〜、まぁかわいい後輩の頼みだし、少しはサービスしますか！」







ルルイ Rurui

（CV：古賀葵）



年齢：？？？歳
装魂霊具：？？？

レイが大迷宮の中で出会う謎の少女。
独特のたどたどしい口調と存在感が印象的で、見た目は 10 歳前後だが実年齢は不明。
神出鬼没で、いつの間にかレイの家にいたり、大迷宮の攻略チームに混ざっていたりする。
一般的な社会常識は皆無で、何を考えているのかよく分からない性格だが食欲は旺盛で、基本的に何でも食べてしまう。



「おなかすいた……
食べて、いい？」





六道真之 Masayuki Rikudo

（CV：武内駿輔）

「弱者には発言権も存在意義も無い。それがこの学園のルールだ。」



年齢：18歳
装魂霊具：大太刀型

比良坂学園で絶大な権限を持つ生徒会長にして、トップランカーのチーム《十一刻》のリーダー。
自他共に厳格な性格で、常に威風堂々とした態度で周囲を従える静かな威圧感を放っている。
確かな実力とリーダーシップを兼ね備え、多くの人々から尊敬される一方実の妹であるフウカに対しては異様なほど冷たくぞんざいな扱いをしている。







勘解由小路 萩 Shu Kadenokoji

（CV：浦和希）

「楓華ちゃん、何か困ったことがあれば昔みたいにシュウ兄さんを頼ってや。」

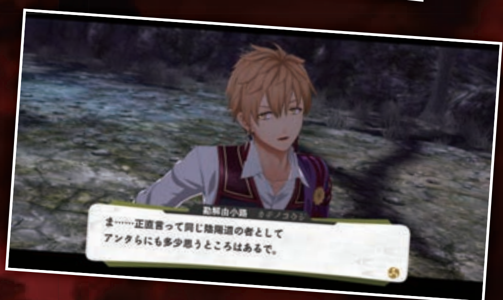


年齢：18歳
装魂霊具：扇＆呪符型

軽妙な振る舞いと雅な京都弁が特徴的なチーム《十一刻》のサブリーダー。
日本政府が擁する対異界機関《陰陽寮》の指導者を代々輩出してきた家系にあたり、学園内では陰陽寮からの派遣組を代表する立場でもある。
幼馴染で親友のマサユキとは真逆の性格をしているようだがしっかりと息は合っているらしく、フウカとも小さい頃から面識がある。







当主様

（CV：豊口めぐみ）

年齢：40 歳

比良坂学園の学園長を務める、仮面で素顔を覆い隠したミステリアスな女性。各勢力の関係者や、どの組織にも属さないレイのような適格者を学園に呼び集めて比良坂大迷宮の攻略を競わせる一方、各々の行動方針には基本的に干渉せず、まるで何かを愉しむように適格者たちの行く末を見守っている。

「神矢伶――
きっと、楽しい学園生活になると思うわ。」









LinoN リノン

（CV：青木陽菜）

天才的な歌声で世界的な人気を獲得したバーチャルシンガーで主人公レイが激推ししている。
幻想的な印象のアバターを介して様々な楽曲を世に送り出してきたが一年ほど前に突然活動を休止してしまったらしく、真相について様々な憶測が飛び交っている。

「わたしは歌う――
大切な想いを乗せて！」









『東京ザナドゥ』から11年。今度は京都が首都となった現代日本を舞台に異界·ザナドゥを巡る物語が幕を開ける！

日本ファルコム往年の名作『ザナドゥ』の名を冠したことから大きな話題を集めたアクションRPG『東京ザナドゥ』。現代の日本が舞台という、ファンタジー色の強かったこれまでのタイトルとは異色テイストを打ち出した同作は、等身大の学生が持つ思いや悩みが描写され、日本ファルコム作品の新境地を切り開いた。

そして今回、京都が首都となった現代日本を舞台とした『京都ザナドゥ』が、2026年夏にリリースされることが明らかとなった！ 2Dアクションと3Dアクションという2タイプのアクションで構成されたバトルシステムを駆使し、異界・ザナドゥを探索していくほか、学園・日常パートでは生徒たちとの交流に京都市街でのグルメ、プレイスポット探索などを堪能することができる。

とある出来事をきっかけに、怪異と呼ばれる怪物と戦う力を手に入れた17歳の高校生・神矢伶（レイ）は、適格者のみ入学することを許される比良坂学園に転入したことで、異界・ザナドゥの完全攻略に挑んでいくこととなる——。

WORLD



京都（Kyoto）

日本国の首都。
1200年前に遷都されて以来、統治体制は幾度か変わったもののの一貫して日本の首都で在り続けている。
伝統と歴史の重みを感じさせる街並みに加え、近代化されたモダンな地区も各所に点在。
その多様性や文化的側面から、海外旅行客の注目も集めている。



比良坂学園（Hirasaka Academy）

適格者のみ入学を許された京都の高等学校で、在校生は約1200人。
次世代の適格者の養成を担う一方、学園地下に存在する比良坂大迷宮の攻略を最大の目的としている。
攻略状況に応じて待遇に大きな差が出る独自のランキング制度を設けているほか、上位5チームのリーダーで構成される生徒会には絶大な権限が与えられている。

KEYWORDS



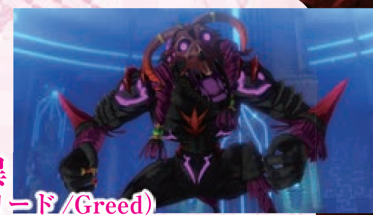
異界迷宮群（ザナドゥ／Xanadu）

現実世界と折り重なるようにして現れる異空間の迷宮の総称。
一般人には認識することができず、怪異が跋扈する恐ろしい空間だが現実では手に入らない資源等もあるため、異界を政治やビジネスの道具として利用しようとする者たちもいる。



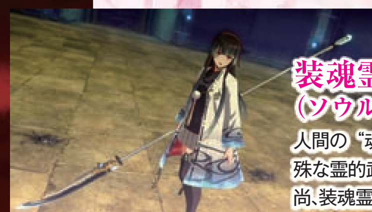
異界化（イクリプス／Eclipse）

異界の侵蝕により、現実世界に影響を及ぼす現象。
異界化自体は大昔から度々発生していたようだが1200年前、京の都に比良坂大迷宮が現れて以来「異界門（ゲート）」の形をとって現実世界と繋がり、その内部に迷宮が形成されるようになった。



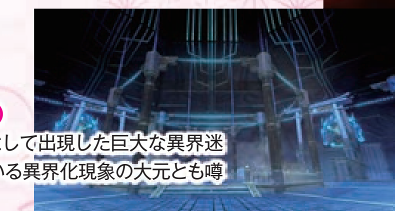
怪異（グリード／Greed）

異界に棲む異形の怪物たちの総称。
"負の感情"に反応し、現実世界の人間たちを異界に引き込む習性を持っており、怪異による被害は表向きは「都市伝説」や「神隠し」として認識されている。
一般的な武器では倒すことができないが、適格者が顕現させる「装魂霊具」であれば決定的なダメージを与えることができる。



装魂霊具（ソウルデヴァイス／Soul-Device）

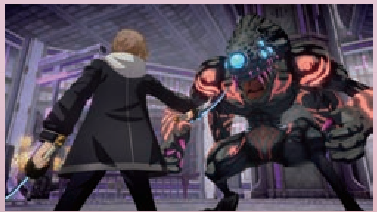
人間の"魂の在り方"を反映して顕現する特殊な霊的武装で、その形状·性能は千差万別。
尚､装魂霊具を扱う能力を持つ者を「適格者」と呼ぶ。



比良坂大迷宮（Hirasaka Xanadu）

1200年前、京都に突如として出現した巨大な異界迷宮で世界各地で発生している異界化現象の大元とも噂されている。
何故か未成年しか進入することが出来ず、成人した適格者は大迷宮に近寄ることすらままならない。

日本・京都と異界・ザナドゥを探索＆バトルをしながら巡っていこう！

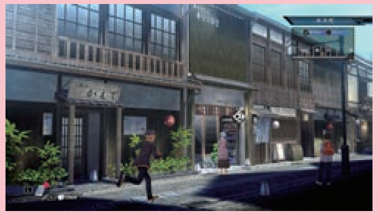


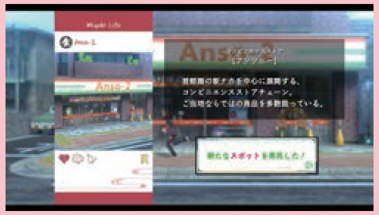


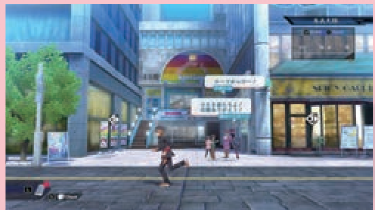


『京都ザナドゥ - 桜花幻舞 -』は大きく分けて、日本・京都の現実世界での探索＆能力強化パートと、怪異が存在する異空間・ザナドゥでの探索＆バトルを行う2パートで物語が構成されていく。その物語の中で、主人公・レイ以外にも様々な登場人物がパーティーとして加入し、プレイアブルキャラとして操作することができるようになっている。

街ブラからバトルまで！様々なイベントが待ち受ける「京都探索」



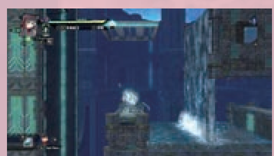


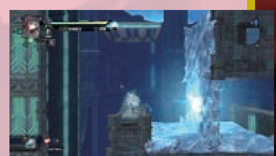


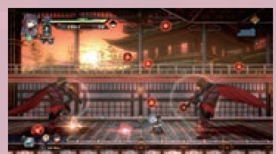
現実世界パートとなる京都探索では､レイが在籍する「比良坂学園」はもちろんのこと､京都の各地を探索することができる。学園では、授業による各種パラメーターの強化や、生徒たちとの交流を楽しむことができる。また、京都探索では、各エリアでのショッピングやアクティビティを楽しむことができるほか、各地で意外な人物たちとの出会いも待ち受けているとのことだ。

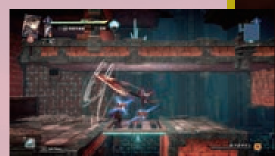
2タイプのバトルシステム「2D／3Dバトル」で異界迷宮を攻略せよ！

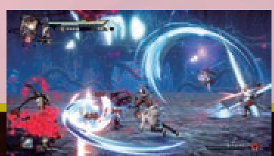
学園地下には「比良坂大迷宮」という異界が広がっている。レイたちは2D／3Dタイプのアクションで、その広大な異界の迷宮の攻略を目指していくことに。
まず、2Dタイプでは、複数の階層に分かれた迷宮を探索していき、様々なギミックを解除もしくは発動していく。その中で起こる戦闘では、それぞれのキャラクターに用意された専用武器「装魂霊具（ソウルデヴァイス）」による多彩なアクションや射撃攻撃。また、「ソウルアクセル」といった特殊なスキルを駆使して、迷宮に潜む怪異たちを撃破しながら攻略を進めていく。その中で、一部の強敵や、異界扉（ゲート）をくぐった先で起こる戦闘では、画面が2Dタイプから3Dタイプに変化。仲間たちと連携しつつ、ジャストガードからのカウンター攻撃「一閃」や、各キャラクター固有の必殺技を駆使してド派手なバトルを繰り広げていく。

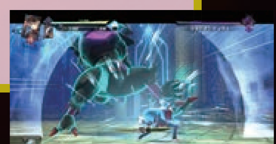




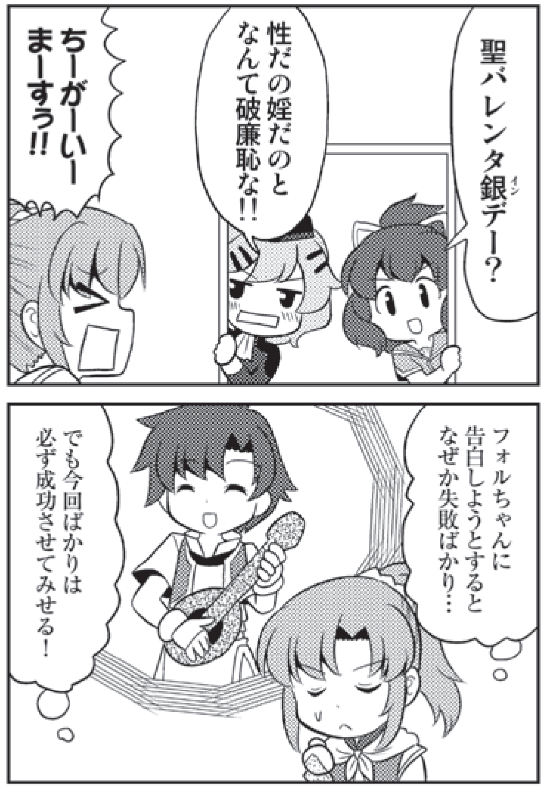






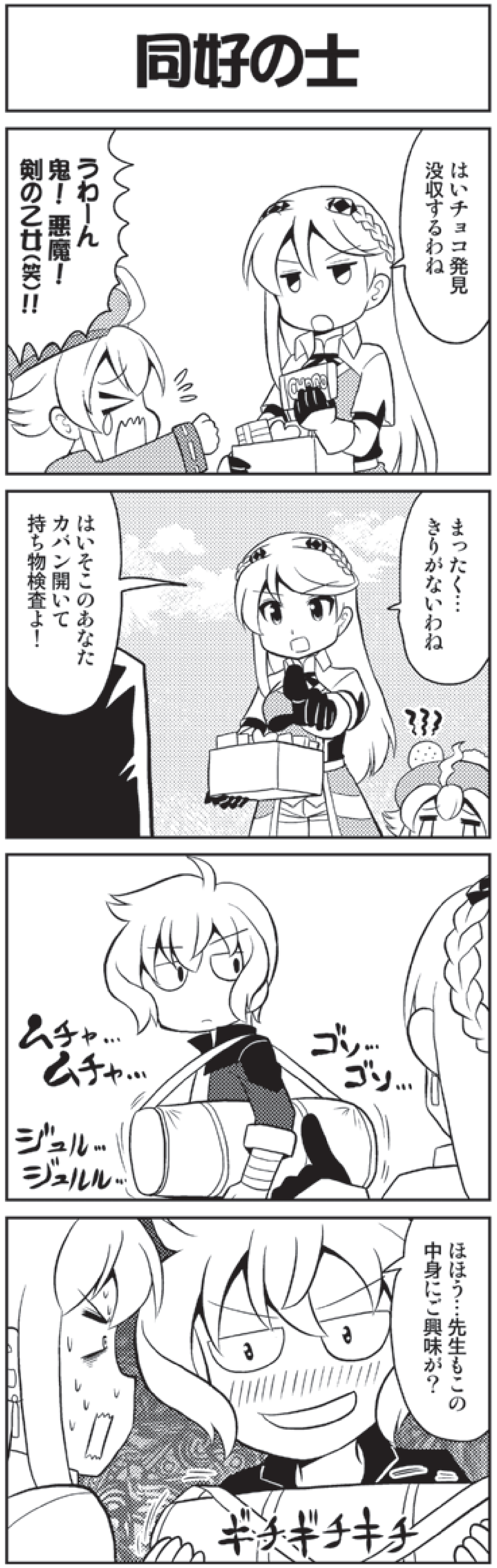



もーっと集まれ！
FALCOM
ファルコム学園
新久保だいすけ
ついにこの日がやってきたわね…
CHOCO
年に一度の恋する乙女の祭典聖バレンタインデー！

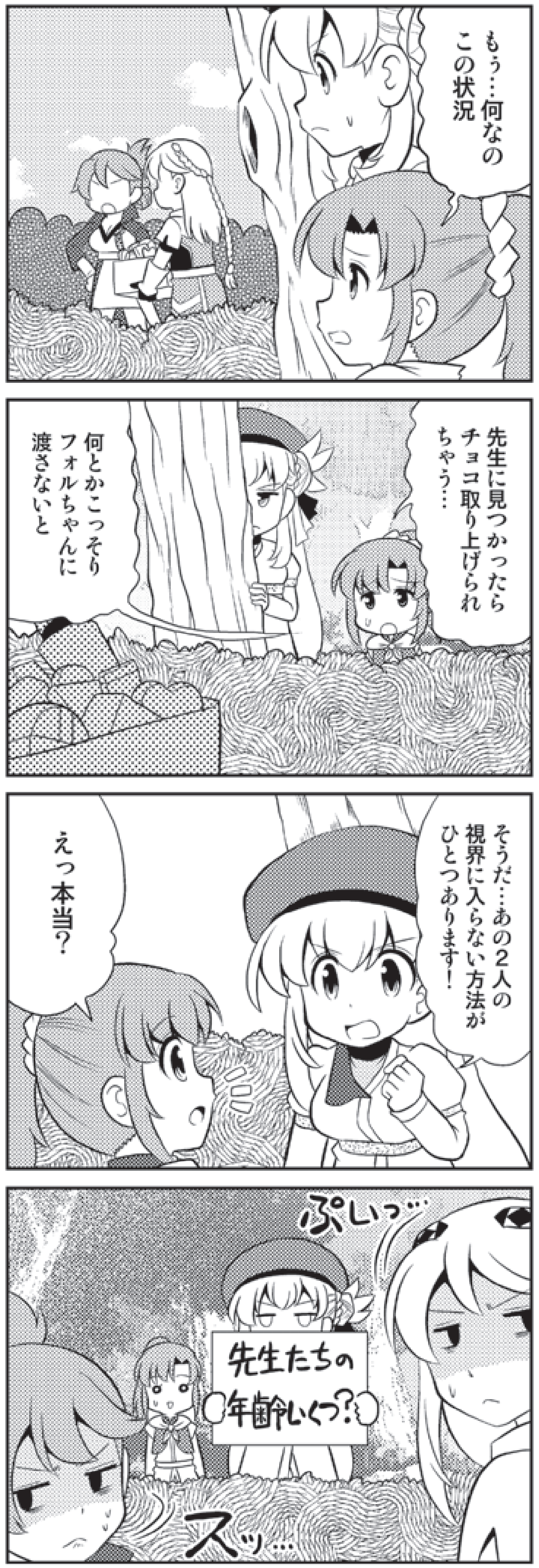

聖バレンタ銀デー？
性だの婬だのとなんて破廉恥な!!
ちーがーいーまーすぅ!!
フォルちゃんに告白しようとするとなぜか失敗ばかり…
でも今回ばかりは必ず成功させてみせる！


そのために準備した最高の材料！最高の道具!!
そして…最高のお菓子作りの先生!!
CHOCO
オチが読めた
はいはいUマテUマテ

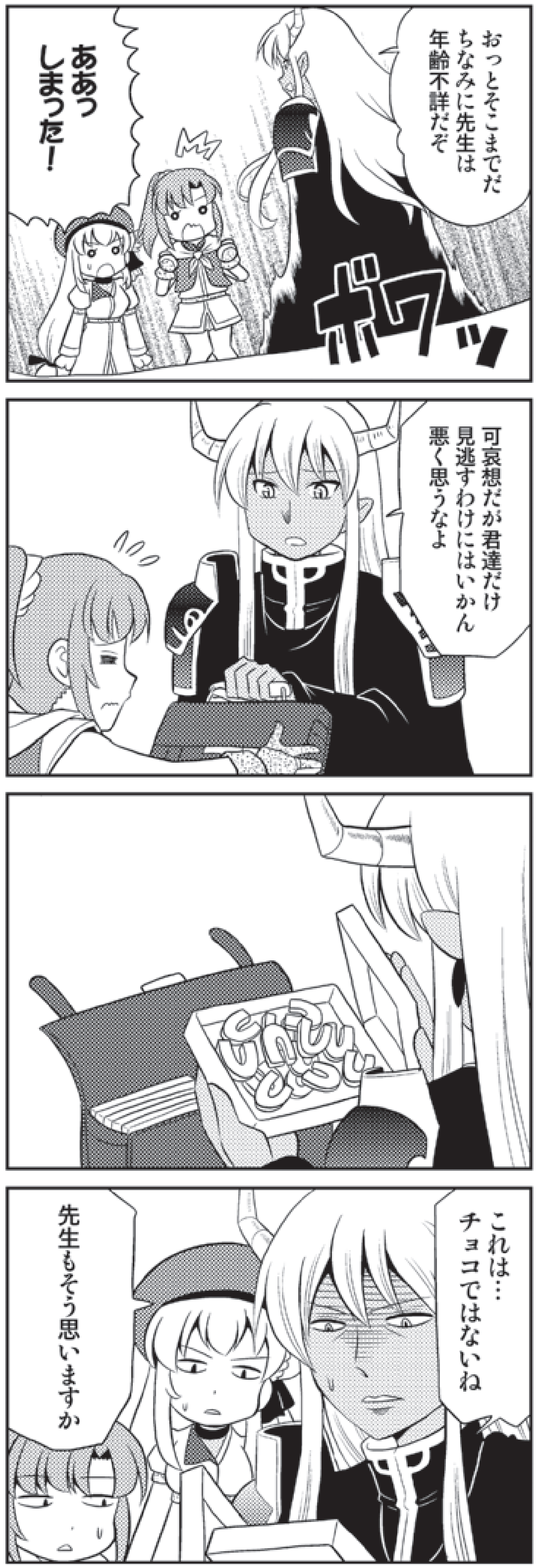

抜き打ち持ち物検査
突然ですが持ち物検査をおこないます！
今日はバレンタインデー学園にチョコを持ち込む者が後を絶えません
学園は勉強の場チョコなど言語道断！
勘違いしないでねバレンタインデーを否定するわけではないの
ザワ
ザワ
そう我々が否定するのは若さとか青春とかキラキラしたものすべてよ!!
ヒヒヒヒヒヒヒヒ


同好の士
はいチョコ発見没収するわね
うわーん鬼！悪魔！剣の乙女(笑)!!
まったく…きりがないわね
はいそこのあなたカバン開いて持ち物検査よ！
???
ムチャ…ムチャ…
ゴソ…ゴソ…
ジュル…ジュルル…
ほほう…先生もこの中身にご興味が？
ギチギチキチ

アニエスの秘策



でぃすいずちょこれいと



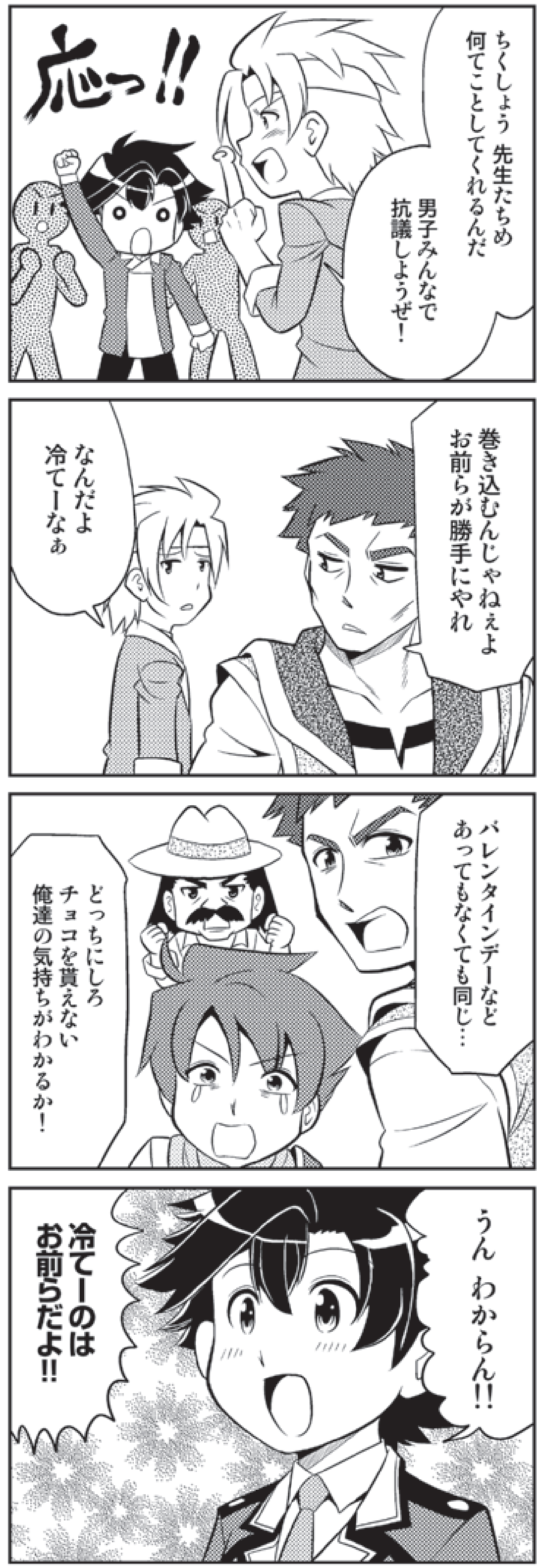
バレスタインの日



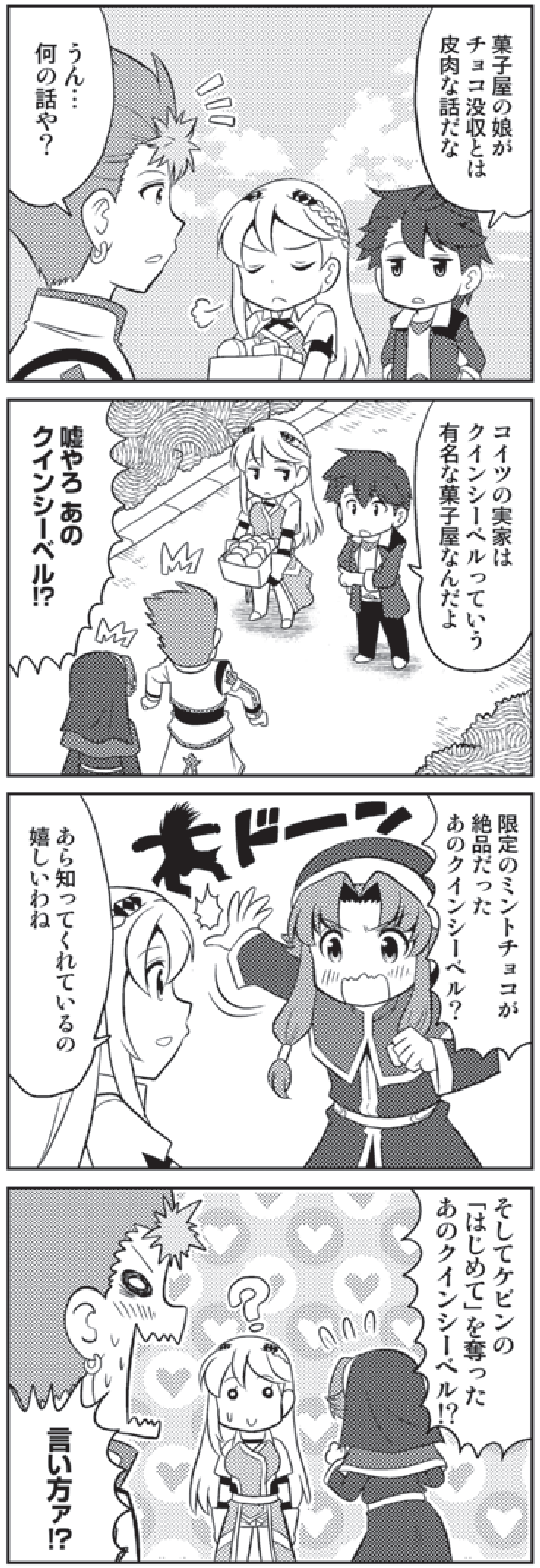
美しい思い出



俺達の気持ち



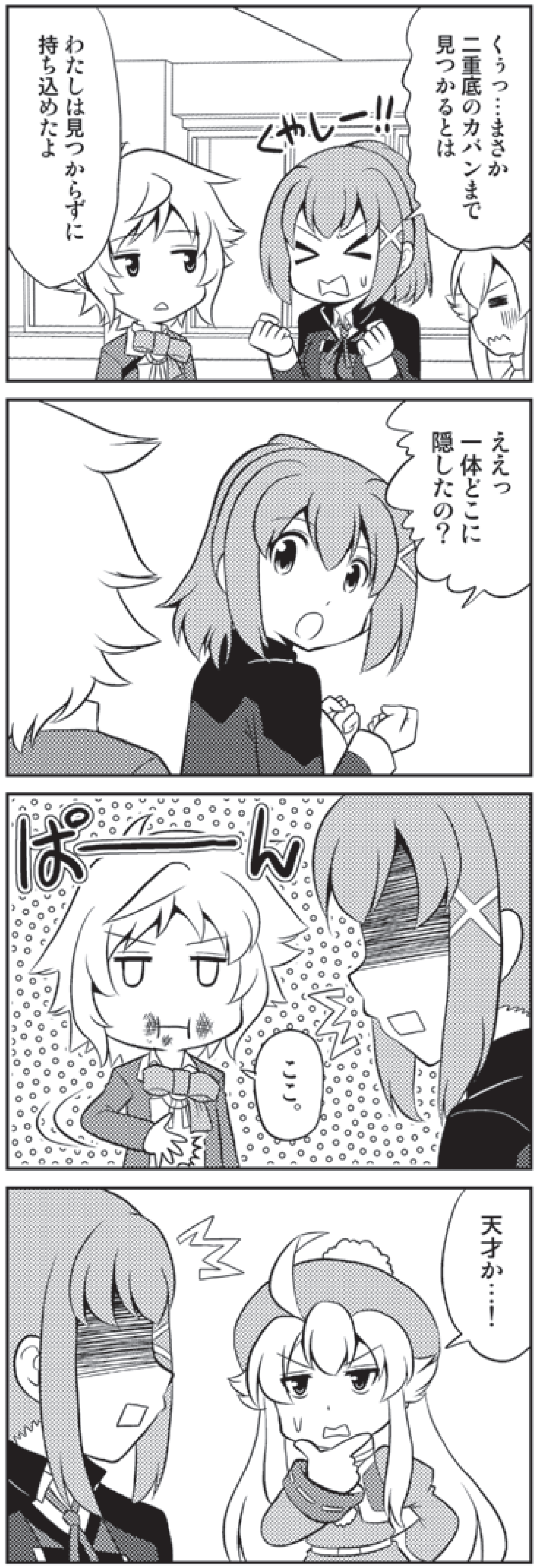
あのクインシーベル



チョコのゆくえ



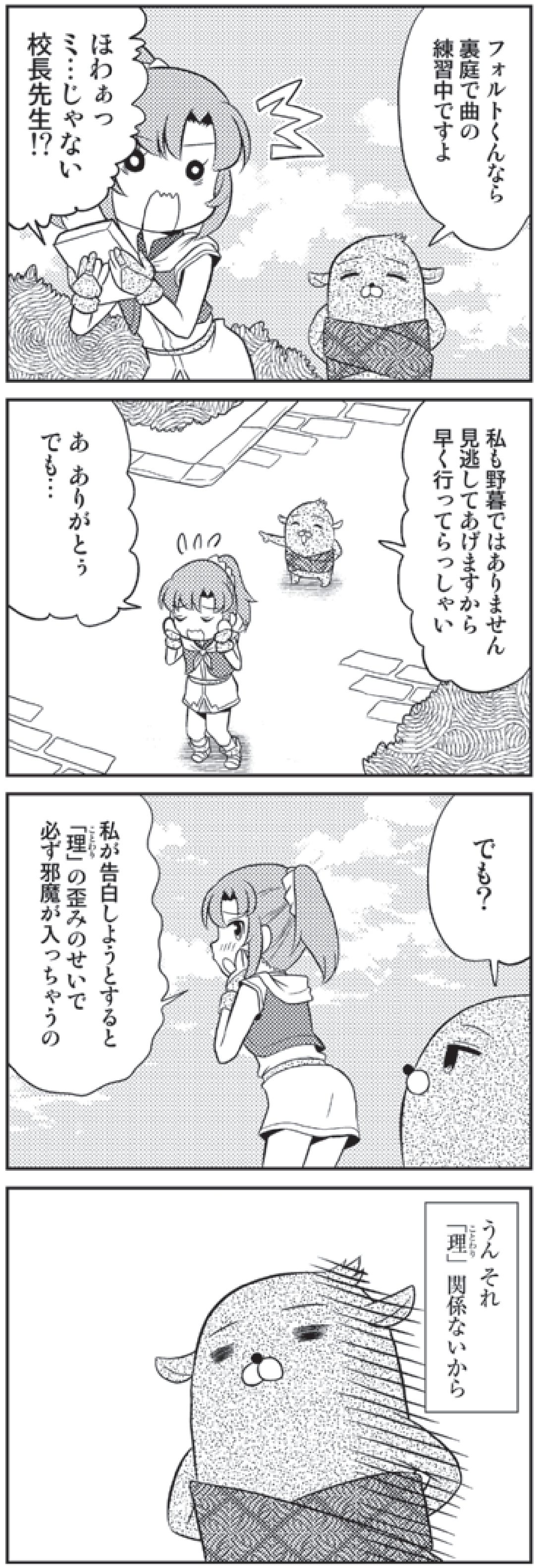
成功したもの



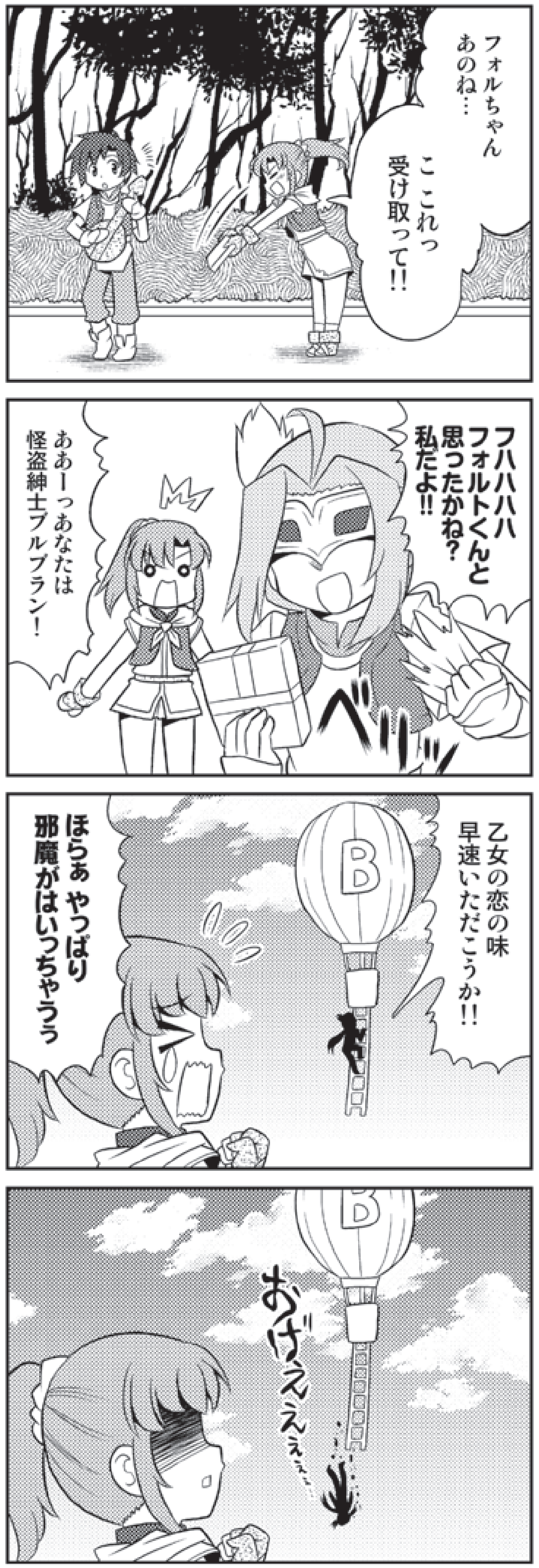
カオスな食遍歴



それがいつものウーナさん



ウーナと告白



バレスタインデーは続く





英雄伝説 創の軌跡
THE MISERABLE SINNERS 01
漫画：墨天業
《仮面の隠者》《暗殺者》《自律人形》
それぞれの思惑を胸に
運命と真実に迫る物語
定価：1000円（本体909円+税）
ISBN978-4-8021-3309-8
発行：フィールドワイ 発売：メディアパル
©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©BOKUTENGOU ©Field-Y
◉フィールドワイ公式HPはこちら➡ www.field-y.co.jp
◉ファルコムブックス公式HPはこちら➡ www.field-y.co.jp/falcombooks



日本ファルコム創業40周年を余裕で超えても、尽きることなく怒涛の勢いでニューカマーが押し寄せるファルコム学園！いつまで続くのかこの進撃！ そして天才・新久保だいすけに果たして限界はあるのか!? 様々な難問に挑戦し続けるご存知“ファル学”第4巻！
実は、計10冊目の『ファルコム学園』！
も〜っと集まれ！
ファルコム学園④
新久保だいすけ
定価：本体 909 円＋税
ISBN 978-4-8021-3387-6
©Nihon Falcom Corp. All rights reserved. ©DAISUKE ARAKUBO ©FIELD-Y
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイ公式HPはこちら → www.field-y.co.jp
ファルコムブックス公式HPはこちら → www.field-y.co.jp/falcombooks

▶ファルコムニュース◀

ファルコムファンに贈る最新ニュースをピックアップ！

ファルコム45周年記念POP UP開催決定！ スタンプを3種類集めてクリアファイルをGET！

日本ファルコム創立45周年を記念し、ファルコムオフィスのある・東京都立川市の対象店舗・3店舗合同でPOP UP&スタンプラリーを開催。対象店舗でキャンペーン対象商品を1,000円(税込)以上購入し、スタンプ台紙に特製スタンプを押印してもらいましょう。



■開催期間：2026年3月6日(金)～3月22日(日)
■店舗：ビックカメラ 立川店／BOOKOFF SUPER BAZAAR 立川駅北口店／コトブキヤ 立川本店

特設サイト	https://eeo.today/pr/falcom45th/

全曲新アレンジ・新録音で贈る ファルコム45周年記念アルバム『Falcomアクースティックス3』3月9日発売！

「ソーサリアン」のボーカルナンバー『Josephine』や「イースII」の代表曲『LILIA』、「XANADU」の『-LA VALSE POUR XANADU-』といった数々の名曲を新規アレンジ。さらに、ボーナストラックとして「奇跡の軌跡VI Falcom jdk BAND LIVE ASIA TOUR 2025」のために編曲・収録された『星の在り処』のJapanese ver./Chinese ver.を収録。ゲームミュージックファンだけでなく、音楽を楽しむすべての人に聴いていただきたい、という想いを込めて制作した『Falcomアクースティックス3』。耳元で演奏してくれているような“リアルな音”をぜひこの機会に！



■発売日：2026年3月9日

ファルコムショップ	https://falcom.shop/products/detail/767

「空の軌跡 the 1st」新グッズ発売中！

ファルコムショップのオリジナル商品に『空の軌跡the 1st』の新グッズが登場。

「空の軌跡 the 1st」アクリルスタンド 15種

公式サイトより、キャラクター全15名がずらりと登場！
お好きなペアやチームで飾ってお楽しみください♪

■プレートサイズ：A6(105mm x 148mm)
■価格：1,320円（税込）



「空の軌跡 the 1st」ちびキャラアクリルスタンド 8種

組み立ててのご使用はもちろん、プレートのまま飾っても映える背景付き！

■プレートサイズ：A7(74mm×105mm)
■価格：880円（税込）



「空の軌跡 the 1st」アクリルブロック 2種

エステル達のワンシーンを立体的に閉じ込めたような透明感のある美しさ！
デスクに飾れば、控えめながら存在感もバッチリ。

■サイズ：H80×W100×D10mm
■価格：1,760円（税込）



ファルコムショップ
https://falcom.shop/page/sora1stAcrylic

<空の軌跡 the 1st ファンミーティング>開催決定！

『空の軌跡 the 1st』のファンイベントが、2026年5月2日(土)に東京都千代田区の一ツ橋ホールにて昼夜2回公演で開催されることが決定しました。『空の軌跡 the 1st』出演キャストによるトークやクイズなど、ファン必見のコンテンツがくり広げられます。さらに、『空の軌跡 the 2nd』をはじめとする日本ファルコム最新タイトルの情報公開も予定。
チケット申し込みは、2026年3月上旬より開始予定。続報をお楽しみに！



■開催日：2026年5月2日(土)　昼夜2回公演
■会場：一ツ橋ホール（東京都千代田区）
■主催：株式会社KADOKAWA Game Linkage

特設サイト
https://dengekionline.com/special/content/sora1st-event/

演奏~録音~ミックス~マスタリング 全工程で最上を追求する ゲーム業界初のハイレゾ 録り下ろしシリーズ、6年ぶりの新作

軌跡シリーズを中心に編んだ『軌跡jdkアクースティックス』(2014)、テーマを広く求めた『Falcomアクースティックス2』(2020)に続く3作目が到着。前作の編曲者gakia2氏が今作も登板、真我光生ディレクションの元、"アクースティックス"の意味合いを拡張する。

text by 井上尚昭(ゲーム音楽ディスクガイド)

M-1 ザナドゥ「LA VALSE POUR XANADU」

バイオリン~ピアノ~サックスのスリーピース室内楽。初作『軌跡jdk』はバイオリンを中心に楽器点数を絞り込み、『2』ではサックス中心のジャズへ歩み寄ったその両者が相みえたかのよう。優雅な休日的ムードで幕を開ける。

M-2 イースII「LILIA」

インストを聞いても歌詞が空耳で聞こえてくるほど、新居昭乃ボーカルによるアレンジ版（1989）の印象が未だに残る。この時、間奏にサックスソロからストリングスへの大掛かりな展開があり、室内楽の匂いを漂わせながら、ラストはサックスのアドリブで締めくくられジャズ的な空気も既にあった。37年を経た今作は口笛メロのカフェミュージック。前半は大人しくしていたバイオリンとピアノが徐々に主張を始めて肉薄していき、2番でサックスが登場。メロを受け持って口笛の座を奪う。その後全く姿を見せないが口笛~バイオリン~ピアノが打ち解けて平和が訪れる。

M-3 ソーサリアン追加シナリオ Vol.1「Josephine」

こちらも1989年に制作された森口博子ボーカルによる英語詞アレンジが記憶されるが、同内容の歌詞を用いて佐坂めぐみがボサアレンジに挑戦。セルジオ・メンデスやアジムスを思わせるエレピが郷愁を誘う。もとよりフレーズの少ない曲なので尺も少なめ。中間部はバイオリンとサックスだけで15秒も繋いでまた歌に戻る、という構成で、歌曲のようでもあり器楽曲のようでもある。後半に向かってドラムがロック的にスパークするのは次曲へのブリッジか。

M-4 ツヴァイ!!「幻の大地セルペンティナ」

フィールド音楽。原曲がフォルクローレ調で本作と親和性が高く、過去にはスパニッシュ風にアレンジされた盤もあったが、ここでは大陸的なアコギやパンフルートによる民族的味付けは横に置きジャズロックへ。バイオリンとサックスの掛け合いで旋律を歌う。

M-5 空の軌跡 the 1st「白き花のマドリガル・メドレー」

劇中劇のサントラ的存在であった楽曲群を集約。M-1に近い編成だが、初作回帰的にクラシック寄りに着地させている。

M-6 空の軌跡FC「星の在り処 Chinese Ver.」

ファルコムjdkバンドが2025年の中国ツアー用に制作した音源。VIP特典としてアナログレコードが配布されたものを収録。佐坂めぐみが中国語で歌唱するロッカバラードで日本語版も最終トラックに収録。

M-7 空の軌跡SC「Strepitoso Fight」

ジャカジャカアコギ+カホンで始まるオルガンファンク。原曲はピアノとブラスによる疾走ラテンジャズだったのでそのまま再現しても良さそうなところ、まるっきり異なる方向に作り替え。新基軸を取り入れながらも、ある一定の範囲から大きく逸脱しそうな要素はオミットしてアルバム全体の世界観を保たせる。

M-8 空の軌跡SC「空を見上げて」

バイオリン、アコーディオン、ボーカルと多彩なヴァージョンを聞かせてきた曲が、大陸的なアコギ1本の大勝負。2分半ほどの休憩的な小曲だが、今作はこういった短曲をブリッジ的に挿入することで、緩急ある構成をとっている。

M-9 閃の軌跡II「I'll remember you」

ピアノ~バイオリン、そして原曲同様佐坂ボーカルの三つ巴。器楽パートも長めに配置し、三者のアンサンブルという形を採っている点に音楽的充実を感じさせる。小編成ゆえに佐坂のテンションコントロールがダイレクトに伝わるゆえ、後半部の熱量はビッグスケールの原曲に同等というマジック。

M-10 閃の軌跡III「Step Ahead」

高速バイオリンロックをクラブジャズへ置換。管楽器もトランペットやトロンボーンを入れて本数が増え、バイオリンと掛け合いも豊かになった。過剰なデコレーションを用いずシンプルに奏者を信じたストレートなアレンジは真打登場の感あり。

M-11 黎の軌跡II「CRIMSON SiN」

前曲がインストサイドのピークだとするなら、こちらはボーカルサイドのピークタイム。ハイスピードメタル歌曲をギターレスロックで、アグレッシブな姿勢はそのままにお送りする。リズム帯はロックマターだがジャズタッチのピアノフレーズが本作を上品に締め括る。

過去作でパーカッション主体だったリズム帯はドラムへチェンジされたが、とりわけ目立つのはベースが主役なのかと思うようなミックスバランス。各パートがベースの上に鎮座したことで「もしもファルコム楽曲をビルボードライブでお披露目したら」を夢想させる作品となった。



■商品情報

Falcomアクースティックス 3

2026年3月9日発売

●価格

【CD盤】3,080円

※価格はすべて税込のものです

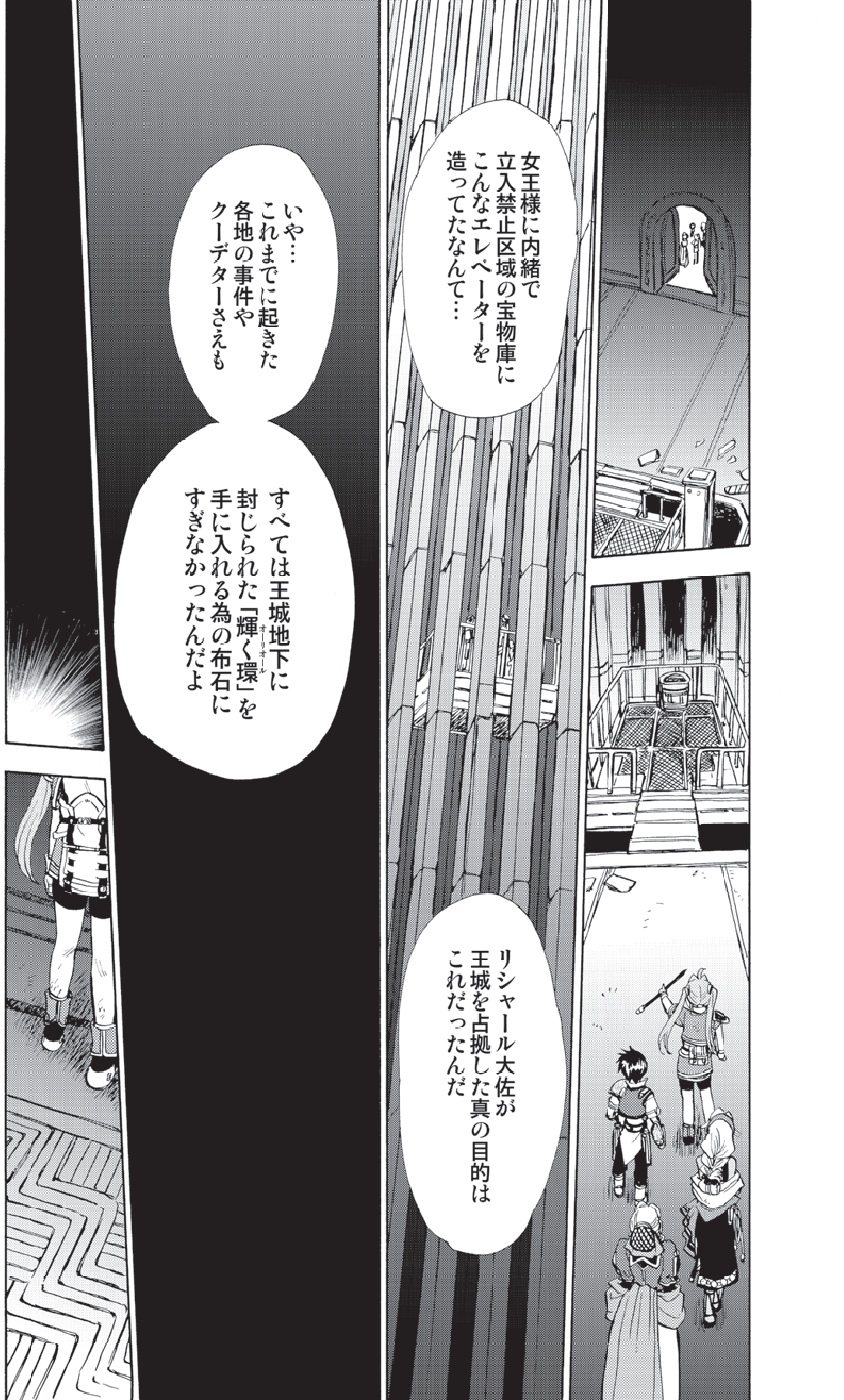
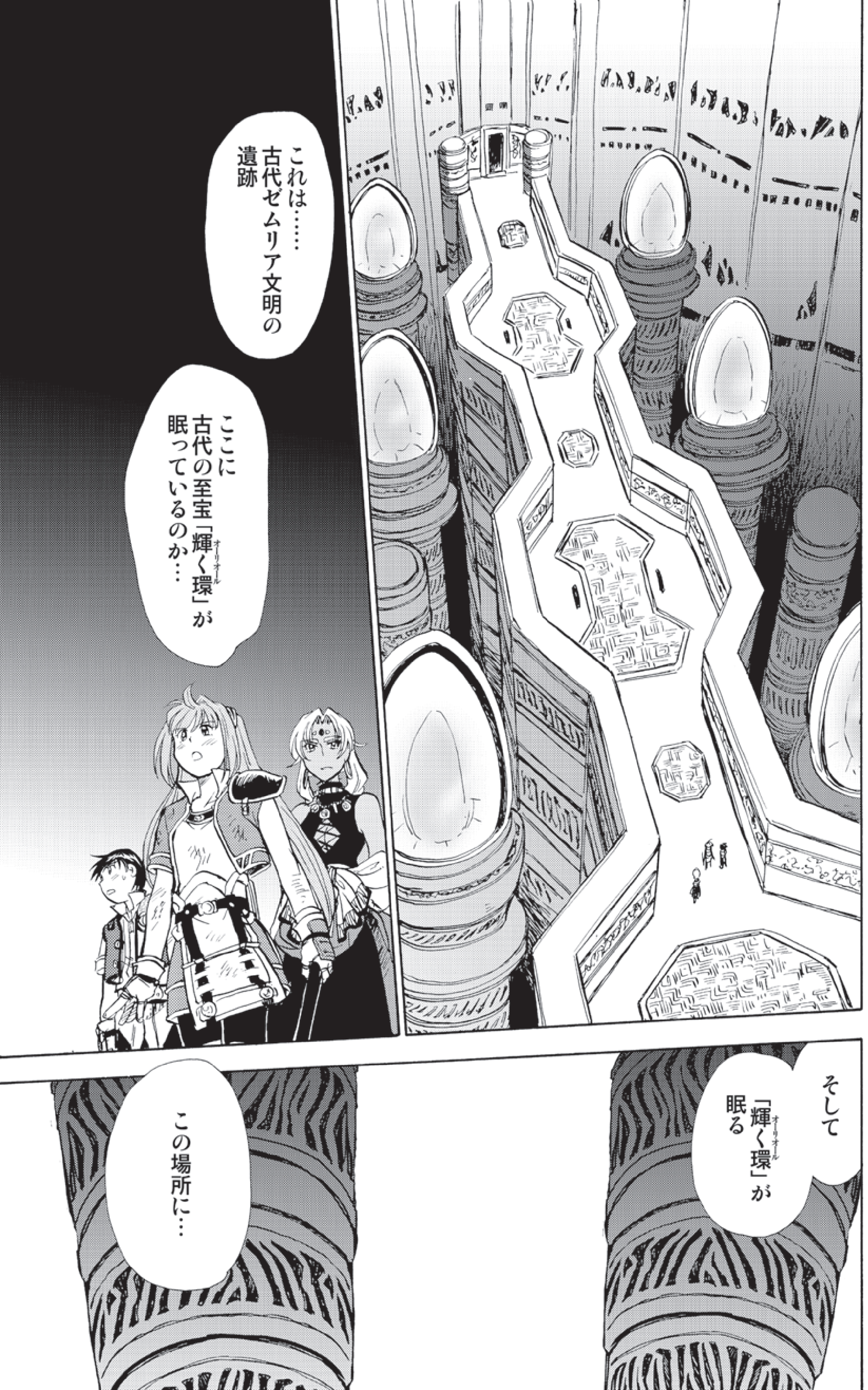

エステル
英雄伝説
空の軌跡
ソラノキセキ
漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム
エステル
エステルッ!!
あれ?
ヨシュア…?
よ……
よかった! 本当に…
君が無事で…!
そうよ
あ!
王女様は無事?
お城は…どうなってるの!?
まったく…
あいかわらずじっとしてられない娘ねあんたは!

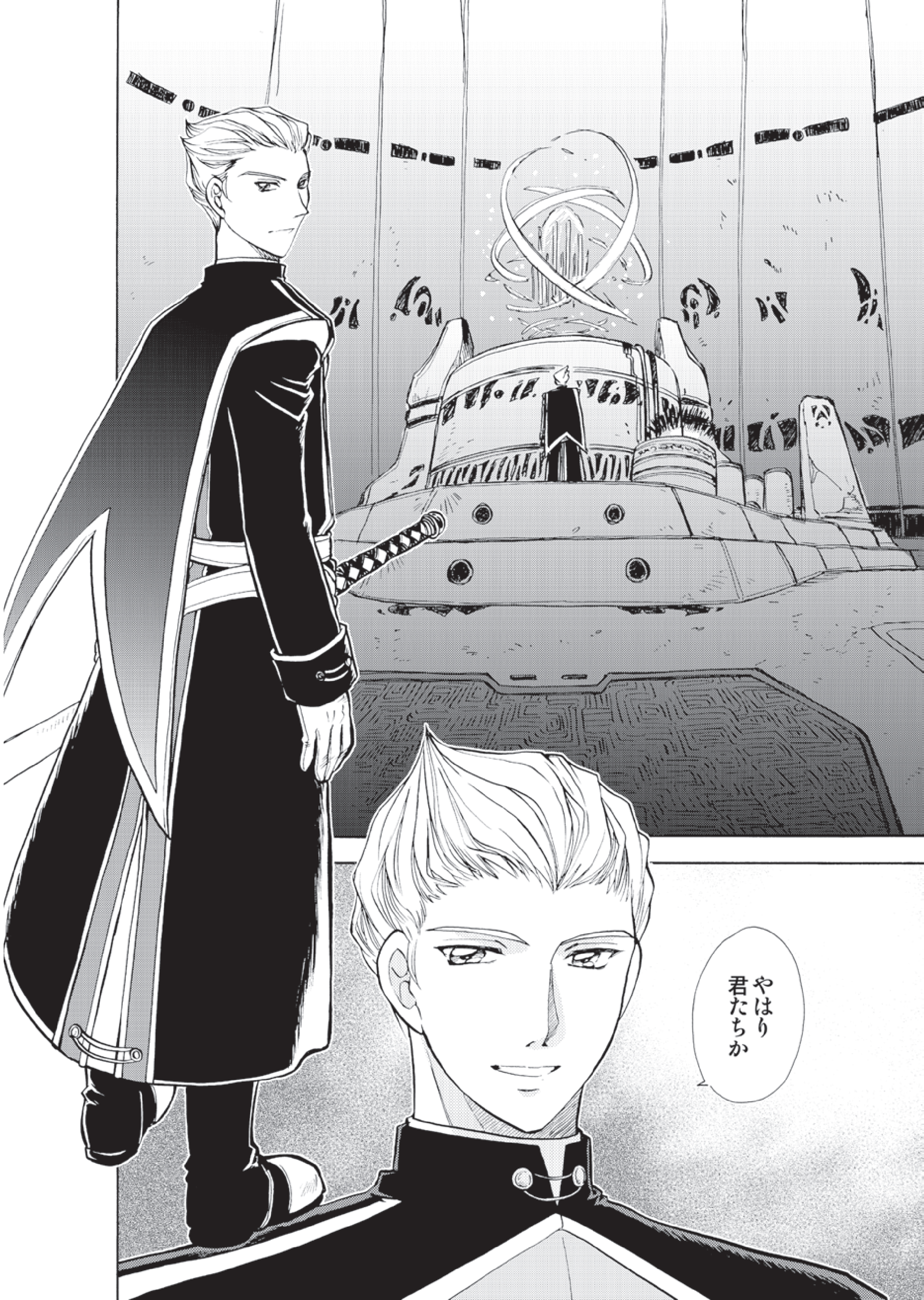

大丈夫！
陛下はご無事よ！
グランセル城ももう心配はいらないわ！
シェラ姉!!
どうしてここに!?
空港や関所が封鎖されてたはずなのに…って言いたいのなら甘いわよ
空と陸がダメなら湖があるってね
ロレント
湖
グランセル
ボートで湖中央を突っ切ってそのまま王都へ乗り込んできてやったわ！
さすがー
いいの？不法侵入？
それから
城へ来たのはあたしだけじゃないのよ


観念しやがれ黒装束ども!!
てめえらの悪行もこれで終わりだぜ!!
しかしシェラ君にも困ったものだ
さっきまであんなに激しく今宵のボクを求めてきたくせにいざとなったら1人だけ先にいってしまうなんて…
ああ…だがもはやそんな風に弄ばれる事にも快感を覚えてしまいそうだよ…♡
…つうかうるせえぞそこ!!
ゴチャゴチャ言ってねえで戦いやがれ!!
あーんおじーちゃーんっ
どこに行っちゃったの——っ
こっちじゃティータ！
早ぅ来んか！
おまえらはチョロチョロ動き回ってんじゃねえよ!!
…そうでしたか
遊撃士協会の皆様には本当にお世話になりましたね
いいえ陛下
クーデターを阻止しようと動いたのはなにも遊撃士だけではありませんわ


リベール通信社の記者たちが正確な情報を迅速に連絡してくれたから
クローディア殿下が王城内部への隠し水路を教えてくださったおかげで
あたしたちは情報部の裏を突いて城内へ奇襲をかけることができたんです
そして
あたしたちの呼びかけに応えて
本来王都を守護してきた一般の兵士たちや
戦う力を持たない民間の人々までもが
グランセル城の解放に力を貸してくれました


リベールを愛するたくさんの人の想いが
未曾有の危機から女王陛下とグランセル城を守ったんです！
だから…リベール王国はもう大丈夫！
どうかご安心を…
待ってシェラ姉!!
まだ危機はお城の地下に残ってるの!!


女王様に内緒で立入禁止区域の宝物庫にこんなエレベーターを造ってたなんて…
いや…これまでに起きた各地の事件やクーデターさえも
すべては王城地下に封じられた「輝く環（オーリオール）」を手に入れる為の布石にすぎなかったんだよ
リシャール大佐が王城を占拠した真の目的はこれだったんだ

これは……古代ゼムリア文明の遺跡
ここに古代の至宝「輝く環（オーリオール）」が眠っているのか…
そして「輝く環（オーリオール）」が眠る
この場所に…


やはり君たちか

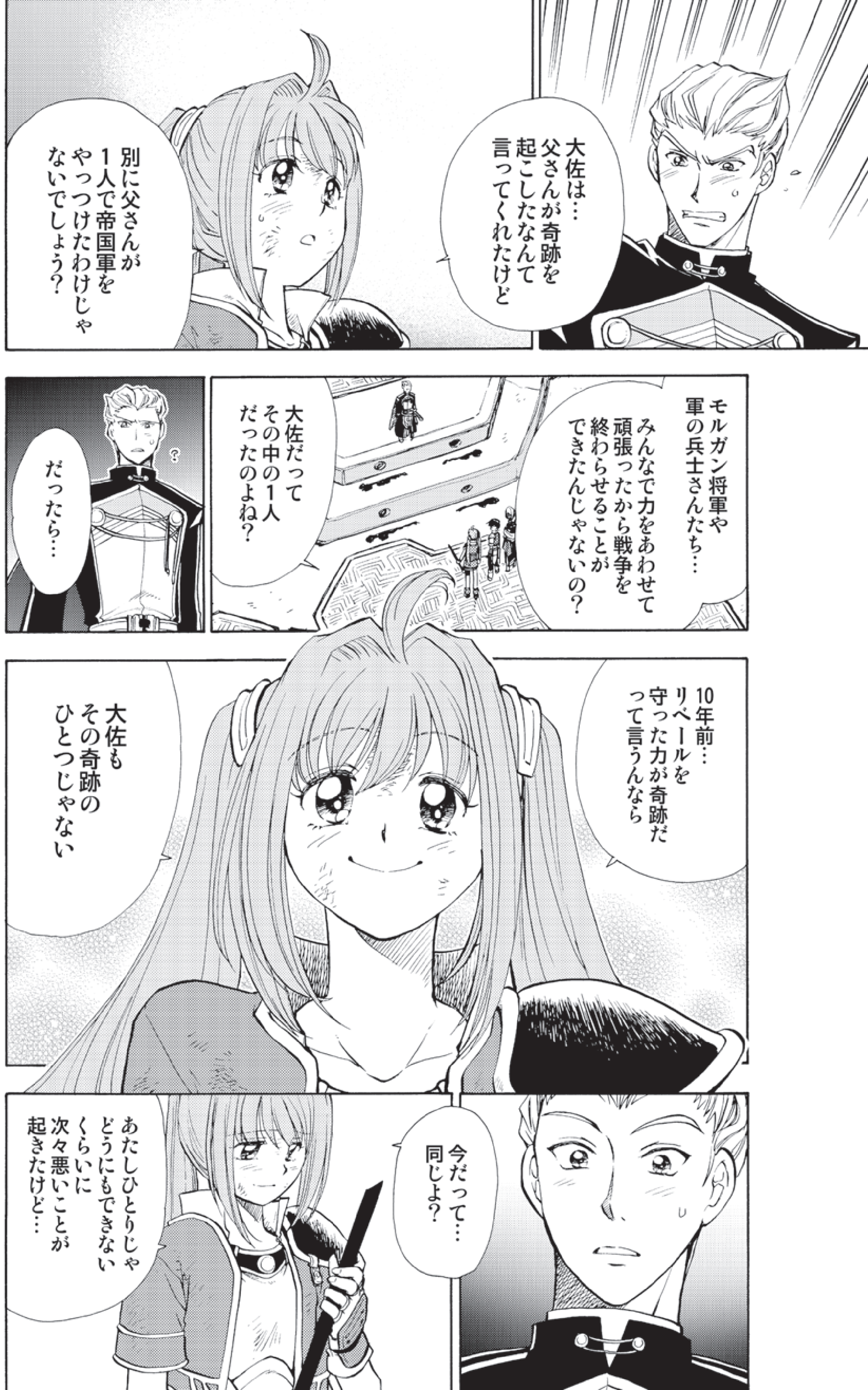

リシャール大佐!!
女王陛下の命によりあなたの計画を止めに来たわ!!
ふふ…
少し遅かったようだな
既に「ゴスペル」は起動させた
あとはただ「輝く環(オーリオール)」の封印が解けるのを待つのみだ
大佐っ!!
…なぜです!? 王国を守るべき軍人であるあなたが…
至宝の力なんて手に入れて一体何をしようとしているんです!?
知れた事…


リベール王国を守る
ただ それだけだ
え…!?
な…何を 言ってるの!?
知ってのとおり 我らの国は 周辺諸国に比べ 国力も兵力も はるかに劣る
だから 10年前のような 侵略戦争が いとも簡単に 起こってしまうのだ
なのに未だ リベールは 戦う術を 持たぬまま
…いや… 彼がいない分 10年前より 弱体化したと 言っていいだろう
二度と 他国から侵略を 受けないためには
決定的な力が 必要なのだ
あの時 帝国軍を撃退した 彼のような
英雄 カシウス・ブライトが 起こしてくれた 奇跡の力が…!


そのカシウスさんが 軍を去ってしまって…
だからこそ私は必死で リベールを守る力を 捜し求めた
そしてようやく この場所に たどりつくことが できたのだ
…私は何か おかしいことを しているだろうか?
だからと 言って…
大佐!
ひとつ 教えてください
あなたは… どうして この場所を 知っていたの ですか?
…なに?
ここは… 女王陛下すら 存在を知らなかった 古代の遺跡です
ましてや 宝物庫から真下に エレベーターを建造すれば この場所に着けるなんて…
こんな 考古学的専門知識が 必要な考察を 普通の人間が 導き出せるとは 思えないんです
大佐… あなたは
一体どうやって この場所を 知り得ることが できたのですか?


それにその「ゴスペル」
ラッセル博士でさえ特定できなかった「黒の導力器」の用途をなぜあなたは知っているんです
その情報はいつどこで手に入れたものなんですか？
こ……答える義務はないな…
違う！
あなたは
僕の質問に答えることができないんだ!!
ただ…
あなたはなぜかこの場所に「輝く環」という強大な遺物が眠っていると確信していた!!
そしてその黒い導力器を使えばそれが手に入ると思い込んだ!!


だけど
そう考えるようになったきっかけがどうしても思い出せない!!
そうなんでしょう!?
…あ…
……
い…いや…！
例えそうだとしても…
「輝く環」がこの国に必要なことには変わりない!!
リベールが苦境に陥った時再び奇跡を起こせるように…!!
それって…
奇跡なのかな


大佐は…父さんが奇跡を起こしたなんて言ってくれたけど
別に父さんが1人で帝国軍をやっつけたわけじゃないでしょう?
モルガン将軍や軍の兵士さんたち…
みんなで力をあわせて頑張ったから戦争を終わらせることができたんじゃないの?
大佐だってその中の1人だったのよね?
だったら…
10年前…リベールを守った力が奇跡だって言うんなら
大佐もその奇跡のひとつじゃない
今だって…同じよ?
あたしひとりじゃどうにもできないくらいに次々悪いことが起きたけど…


それでもあたしは
いろんな人に助けられながらここまでたどりつくことができたわ!
それこそ奇跡だって思わない?
でもね
それはたぶん奇跡でもなんでもなくて…
あたしたちが普通に持ってる可能性なんじゃないかって思うの
もし…これから先…
また戦争みたいなことが起こっても…


みんなで
お互いを
支えあえば
きっと
何でも
切り抜けられる
気がする！
わけのわからない
古代の力なんかより
こっちの方が
確実よ！
絶対にっ!!


何!?
この光…
ゴスペルの…
導力停止現象!?
オオオオオオオオ
大佐っ!!
「輝く環(オーリオール)」が
この手に……!!
…いよいよだ…


フォン
輝く環(オーリオール)封印機構における第一結界の消滅を確認
フォン
デバイスタワーの起動を確認
なに!?
なにが起きてるの!?
大佐!!
これは一体!?
わからない…
こんな事態は…
環の守護者の封印解除を確認
想定して…
全要員は可及的速やかに撤退してください
フォン
フォン


きゃあっ!!
うおっ!!


なによ
あれっ!!
エステル!!
さがって!!
ドオオオン

ヂャコッ
これが…
地下に眠ってた
古代遺物!?
こんなものが
「輝く環」だって
言うの!?
いや…
さっきの声から
するとおそらく
こいつは「環の守護者」
名前から推測するに
「輝く環」を
守るために造られた
兵器だよ!
守る…
ですって?



こんな力を振るうことが
守るってことなの…!?
とにかく!!
こいつはこの場でなんとかしなきゃね
踏ん張るわよ!! ふたりとも!!
ガッ
君たちは逃げたまえ!!
大佐!!
君たちまで犠牲になることはない!!
私のことは気にしなくていい
最期に君たちだけでも助けることができたならば
…後悔だけはせずにすむ…
もうっ!!
うおっ
ちょっと失敗したからってやけっぱちにならないでよっ!!
大丈夫!!
みんなを信じてっ!!
リベールを守りたいのは
大佐だけじゃないんだから!!


その通りです!!
それでこそエステル君!
天晴れなほどの前向きさだ!!


へっ ナマ言いやがって!!
さすがは旦那の娘だぜ!!
よっしゃ!!
あとは頭部の導力源を破壊するだけじゃ!!
みんな——っ!! がんばってぇ——っ!!
こ…こんな まさか…


あ…
あきらめなければ必ずや勝機は見える!!
そう教えたこと忘れたのか!?
タン
ドオーン!!…


ズドオオン…
こんなものか…
トッ


みんな！
ご苦労だったな！
あ
あなたは
と
と
と
カシウスさん!!
父さん!?
ただいま♡
…じゃないでしょ!!
どーして父さんが最後の見せ場をかっさらってんのよ!!
はっはっは
まあ…なりゆきってやつ？
どんななりゆきよっ
せんせ〜い
はは…
やはりあなたは英雄ですよ
カシウスさん


あなたがいれば…
私もこんなことをしなくてすんだのに…
あなたさえ軍に残ってくれていたなら…
甘ったれるなリシャール
俺はおまえがいたから
安心して軍を辞めることができたんだぞ
それほどの才覚を持ちながら
なぜ自分の足で立たなかった？
城に集まった者たちの顔をよく見てみろ
なぜ同じ志を持つ仲間の力を信じようとしなかったのだ
そして自分に何が足りなかったのか
罪を償いながら考えるがいい
次回、FC最終回!



英雄伝説
閃の軌跡06
原作／日本ファルコム
脚本／恵村まお　漫画／さがら梨々
A5判　160P　定価：本体991円+税
ISBN 978-4-8021-3123-0
©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©SAGARA RIRI 2018
好評発売中!!
エレボニア帝国に吹き荒れる陰謀の嵐！
時代が選ぶのは果たして誰か!?
そして友という絆に背を向け、
両雄相まみえる！
激動のクライマックス！
発行：フィールドワイ　フィールドワイ公式HPはこちら➔www.field-y.co.jp
発売：メディアパル　ファルコムブックス公式HPはこちら➔www.field-y.co.jp/falcombooks



啄木鳥しんきのFalcom日和
完全無欠のスーパーお父さんなカシウスさん。
いつもピンチに颯爽と現れて　おいしいところを
かっこよくかっさらっていっちゃうの　ほんと　ずるい！
そんなカシウスさんの　魅力は　FCよりも
続編の　SCの方に　詰まっていると思うのです。
今年発売予定の「the 2nd」が楽しみですね(^^)

英雄伝説 零の軌跡 ～午後の紅茶にお砂糖を～

特務支援課メンバーが過ごす
クロスベル自治州のゆる～い(?)日常！



第9回

エレボニア帝国とカルバード共和国という大国に挟まれながらも、自治州として独立していたクロスベルを舞台とした『零の軌跡』、『碧の軌跡』シリーズ。続編となる『閃の軌跡』、『創の軌跡』においても激動の中にあり、様々な壁が立ち塞がっていたが、怯むことなく立ち向かっていったのがロイド・バニングス率いる特務支援課メンバーだ。そんな特務支援課メンバーが、もしかしたら過ごしていたかもしれない日常を描く、魅力たっぷりの一冊をご堪能あれ！

製品情報
好評発売中
著　　　：むらさきゆきや
イラスト：窪茶
定　　価：1,210円（税込）

　キーアの指示に従って、あれこれパーティーの準備をしていると、玄関のほうから声がした。
「こんにちはー」
「む？　来客のようだな」
　ダドリーたちが厨房から顔を出すと、玄関口には警備隊の制服に身を包んだ少女の姿があった。
　キーアが笑顔で迎える。
「わあい、ノエルだ～」
「こんにちは、キーアちゃん！」
「ふむ……君は、ノエル・シーカー曹長だったかな？」
　問いかけると彼女は目を丸くした。

「あれ？　もしかして、捜査一課のダドリー捜査官でいらっしゃいますか⁉」
「ああ、そのとおりだ」
「ご苦労様です！　……って、ここ支援課ですよね？　なにをされてるんでしょうか？」
「見てわからんのか？」
　ダドリーはスーツを脱いで、エプロンを巻いている。
　ノエルが首をかしげた。
「ちょっとわからないです……どうして、一課の捜査官が、支援課でキーアちゃんと料理を？」
「……そうだな。どうしてだろうな？」
　ダドリーのほうが教えて欲しいくらいだ。
「ふふ、なかなか面白いことになっているみたいね」
　ノエルの後ろから、クールで理知的な雰囲気の女性が姿を見せた。
　やはり警備隊の制服を着ているが、左胸の階級章が将校であることを示している。
　今度はダドリーが目を丸くする番だった。
「ソーニャ・ベルツ副司令⁉」
「お邪魔してもいいかしら。アレックス・ダドリー捜査官？」
「警備隊の実質的なトップが、警察のいち部署である支援課に……まさか、なにか事件が⁉」

「ふふ、そういうわけではないの」
「ロイドたちは支援要請で出動していますが……？」
「ええ、知ってるわ」
　ソーニャの言葉に、ノエルが説明を添える。
「あたしたち、警備隊本部の近くでロイドさんたちに会って、誘われたんです」
「セルゲイの誕生日パーティーをするらしいわね。しかも、サプライズなんですって？
ふふ、楽しそうじゃない」
　警備隊副司令ソーニャ・ベルツが、らしからぬ少女のような笑みを浮かべた。
　おおっ、とノエルが驚いた顔をする。
　そういえば……とダドリーは思い出した。
（……セルゲイさんと、ソーニャ副司令は……ならば、私がとやかく言うことではないな）
　ひとつ、うなずく。
「わかりました。パーティー料理の準備中なので、お茶くらいしか出せませんが、中で待っていてください」
「ふふ、おかまいなく」
「あたしにも手伝わせてください！　美味しそうな匂いがしてますね。もうケーキは買っ

てあるんですか？」
「えへへっ、ケーキも作るんだよ」
「えっ、手作りなの⁉」
「うん！」
元気よく答えたキーアに、ダドリーは驚愕の声をあげる。
「おい待て、今からケーキ……だと⁉」
「そのほうが楽しそうだもん」
「しかし……」
「あら、大変そうね。私も手伝おうかしら？」
ソーニャがうれしそうに袖をまくる。
今度はノエルが声をあげた。
「ええっ⁉　副司令が⁉」
「あら……私だって、料理くらいできるわよ。まあ、ここ数年、ごぶさただけど」
そこに、さらに来客があった。
「あの……すみません……」
「む？」
もじもじと気後れした様子で、黒髪の美しい少女が姿を見せた。

ダドリーは我が目を疑う。
「なっ⁉　もしかして……リーシャ・マオ嬢か⁉」
劇団アルカンシェルの看板スターのひとりである。
リーシャが困ったような顔を浮かべた。
「やっぱり、ご迷惑なんじゃ……」
彼女の背を押すようにして、栗色の髪の少女が入ってくる。ウルスラ病院の看護師セシルだった。
「ふふ、ロイドが大丈夫って言ってたから平気よ」
華やかなふたりが来たら、部屋の空気まで変わったように感じられる。
リーシャが、ぺこりと頭をさげた。
「すみません……セシルさんから、ここでお祝いのパーティーをやるからとお誘いを受けまして……」
「うふふ、すこし前に、リーシャさんに助けてもらったことがありましたから」
はたはたとリーシャが左右に手を振る。
「いえ、そんな！　たまたまロイドさんたちと一緒にいただけです」
「だとしても、助けてもらいましたから。いつか、お礼をしたいとロイドと話してたところだったんです」

「あれは、むしろ私のほうが、ロイドさんにお礼を言いたいくらいで……」
　この調子だと、延々と同じことを繰り返しそうだ。
　ダドリーは割って入る。
「だいたい話はわかりました……つまり、リーシャ・マオ嬢も、セルゲイさんの誕生日パーティーに来たんですね？」
「はい。支援課のみなさんには、お世話になってますから、お祝いができたらいいな、と思いまして」
「なるほど……」
　プライベートでの参加であれば、ダドリーの立場から、どうこう言うべきではないだろう。
　セシルが確かめるように尋ねてくる。
「ロイドが誘っても大丈夫って言ってたし、きっとセルゲイさんも喜んでくれますよね？」
「まぁ、経緯はともかく……リーシャ・マオ嬢に来てもらったら、普通はよろこぶでしょう」
　セシルとリーシャが安堵したように表情をやわらげる。
　ノエルが元気よく腕まくりした。
「よし！　人数も増えてきたことですし、じゃんじゃん料理しちゃいましょう！」
　セシルとリーシャも手伝いを申し出てくる。

「お料理の最中でしたか？　よかったら、手伝わせてください」
「私もなにか……炒飯とか坦々麺とか、東方系の家庭料理なら得意です」
　キーアが瞳を輝かせた。
「わあい！　みんなでがんばろ～!!」
　小さな手をにぎりしめて、号令をかけた。
「おー!!」
　ノエルとセシルが、ノリ良く合わせる。
　リーシャとソーニャは微笑んでいた。
　騒々しくなったせいかツァイトが起きて、階段をのぼっていく。
　ダドリーは皿を並べたり、食材が足りないと言われて買い出しに行ったり、息つく暇もないほど働いた。

　夕方——
「ただいま～」
　ロイドが帰ってきた。エリィとティオとランディも一緒だ。

そして、それぞれが驚きの声をあげた。
「パーティーの準備が終わってる⁉」
「いい匂いがするわね」
「……すごい料理がならんでます」
「おいおい、まるでパーティー会場みたいじゃねえか⁉」
料理をテーブルにならべていたダドリーは、咳払いをした。
「みたいではなく、ここはパーティーの会場だ。企画したのは、お前たちだろうが」
キーアが厨房から飛び出してきた。
「ロイドー‼」
「ただいま、キー……おいおい、手が……⁉」
幼い女の子の手は、なにやら白いものまみれになっていた。
しかし、ロイドに向かって突進する勢いは止まらない。
べちゃり！
「うっ……キーア……」
「あれ？」
ロイドの服に、べっとり白いものがついていた。
キーアのほうも鼻や口元に、べたべた白いものをつけている。

ぺろり、と舐め取った。
「えへへ～、甘～い♪」
「……キーア、これ生クリームか？」
「うん！」
服をクリームでべたべたにされたロイドだったが、優しくキーアの頭をなでる。
「今日は、みんなでパーティーの用意をする予定だったのに……ごめんな。こんなに遅くなっちゃって」
「ううん！　お仕事だからいいの。へいきだよ！」
けなげな様子に、ティオが涙ぐんで、キーアのことを抱きしめる。
「……キーア！」
「んあ？　ティオにもクリームついちゃうよ？」
「いいんです。そんなの気にしません」
「キーアちゃん、お料理とか大変だったでしょう？」
エリィの言葉に、キーアが首を横に振る。
「みんなが手伝ってくれたから！」
厨房から、ノエル、ソーニャ、リーシャ、セシルが顔を出した。
それぞれが、ロイドたちに、ねぎらいの言葉をかける。

ランディがテンションを跳ね上げた。
「うおっ!?　リーシャちゃんに、セシルさん!?　本物か!?　それとも夢か幻か!?」
ロイドたちは驚いたり、お礼を言ったりと、大変だった。

ようやく落ち着いた頃――
玄関から、ひとりの青年が入ってきた。
「やれやれ……大騒ぎだね。僕も仲間に入れてもらっていいのかな？」
「あっ、外で待ってたのか？　もちろん歓迎するよ」
ロイドが迎え入れたのは、中性的な美貌と、皮肉めいた笑みが印象的な青年だった。
ダドリーは一瞬、言葉を失ってしまう。どうにも驚くことの多い一日だ。
「…………ぬおっ!?　貴様はワジ・ヘミスフィア!?」
「やあ、お久しぶり。ダドリー捜査官」
ワジは不良グループ《テスタメンツ》のリーダーである。
「支援課は、一応、警察の組織だ。どうして、お前がここにいる？」
ティオが小さな声で「……一応は余分では？」とつっこんだ。
それはともかく、ワジが応じる。
「どうしてって、彼に誘われたからさ」

「む……どういうことだ、バニングス!?」
ダドリーが睨むと、ロイドは当然という顔をしていた。
「支援要請を受けて探してた飼い犬なんですけど、旧市街のほうへ逃げてしまって……隠れるところが多いから、これは大変だと思ってたら、ワジが協力してくれたんです」
ワジが話を引き取る。
「旧市街は野犬同士も縄張りを持ってるからね。迷いこんだ犬の逃げこむ先は、それほど多くないのさ……その犬を説得したのは、ティオだけどね」
「……話せば、わかってくれました」
納得できるような、できないような話だ。
「協力してもらったのは、確かなのだろう……しかし、不良グループのリーダーを招くなど――」
「あの、ダドリー捜査官。誰であろうと、この場に来てくれた人を追い返すというのは、お祝いに水を差してしまうことになりませんか。それに彼なら、おかしなことはしないと思います」
そう言ってかばったのは、意外にもノエル曹長だった。
（……もしかして、知り合いなのか？）
ダドリーは納得しかねるが、そもそも、パーティーの主催者はロイドだ。

そして、なにも言わないということはソーニャ副司令までワジの同席に異論ないのだろう。

ため息をついた。

「まぁ、パーティーとは、こういうものか……」

ワジが肩をすくめる。

「ふふ……なかなか異色の取り合わせだね。捜査一課のエリートと、警備隊の人たちと、ウルスラ病院の看護師さんと、アルカンシェルのスターかい？　そのうえ、不良グループのリーダーまで呼ばれて、警察官のお誕生日会だなんて……こんな妙なパーティー、いくら僕でも経験ないよ」

楽しそうに笑っていた。

まったくもって非常識だ、とダドリーは思う。

ロイドはクリームまみれの服を着替えに自室へあがり、エリィとティオはキーアの顔をぬぐってあげる。

子どもとは思えないほどしっかり者に見えたキーアだが、世話されている姿は、まだまだお子様だ。

そして、予定通りの時刻に、本日の主役が姿を見せる。

特務支援課の課長、セルゲイが帰ってきた。

会議スペースの大きな長机には、いっぱい料理がならんでいる。

ホワイトボードには『HAPPY BIRTHDAY』の文字。

そして、笑顔で出迎えた面々は——支援課のロイド、エリィ、ティオ、ランディ、キーアと、警備隊のノエル曹長、ソーニャ副司令。劇団アルカンシェルのリーシャ・マオ。ウルスラ病院の看護師のセシル。さらに、テスタメンツのワジだ。

もちろん、捜査一課のダドリーもいる。

いつの間にか、ツァイトも戻ってきていた。

タバコをくわえたまま、セルゲイが唖然として、つぶやく。

「……なんだ、こりゃあ……？」

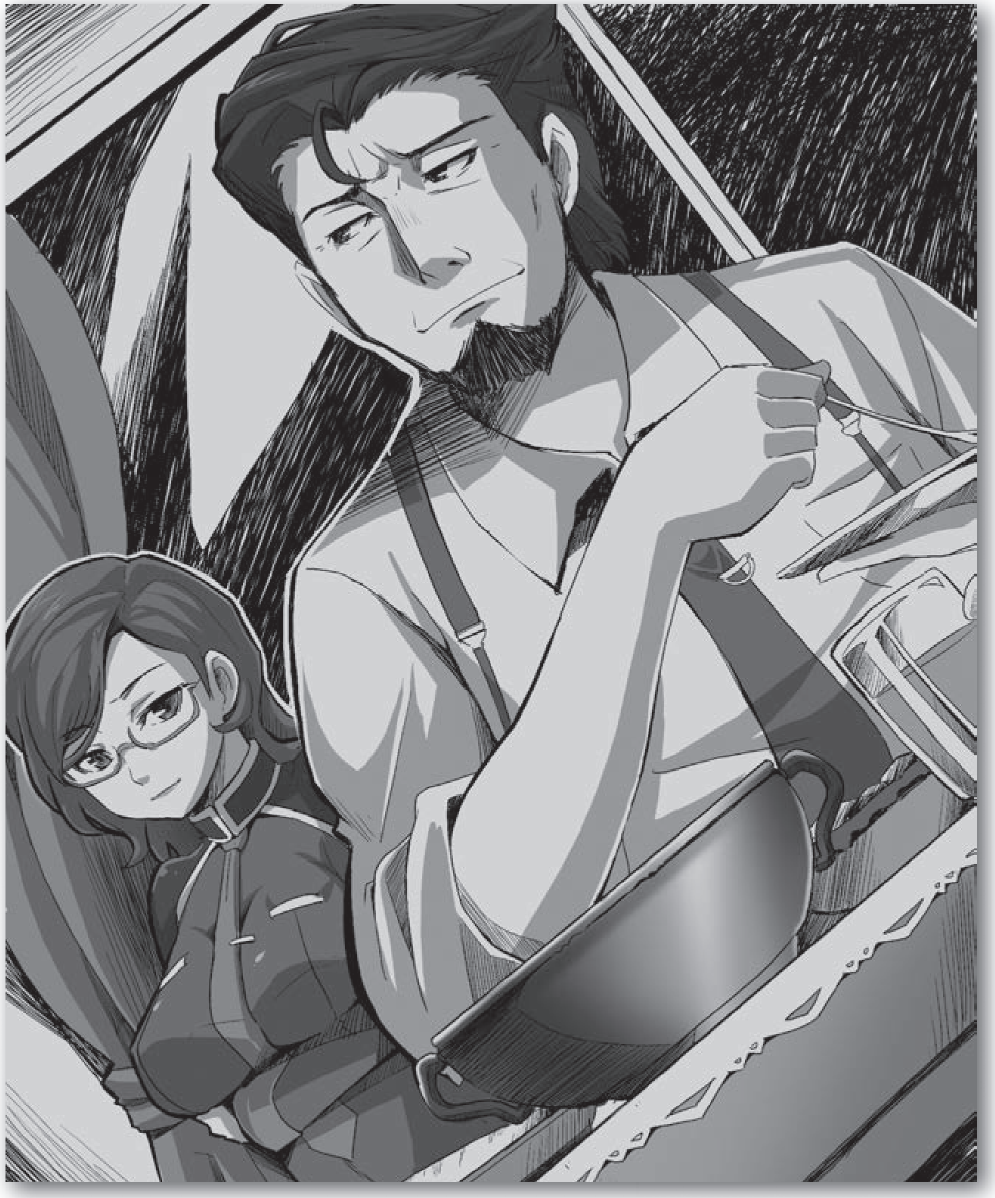
「かちょー、お誕生日おめでとー!!」

キーアが最初に、お祝いの言葉を投げかけた。

みんなも口々にお祝いする。

セルゲイが目を白黒させていた。

ソーニャが、グラスを手渡す。
「乾杯くらいしたら？」
「あ、ああ……」
みんなが言葉を待っていた。セルゲイが困ったような笑みを浮かべる。
「クク……数日前から、なにかやってるとは思ってたが……やれやれ、この忙しいのに、元気なやつらだな」
ロイドたちが照れ笑いで返した。
セルゲイがグラスを掲げる。
「誕生日を祝うような歳でもねえが……ま、礼は言っておこう」
みんなで乾杯した。
ロイドたちはノンアルコールにしておく。ランディなどは残念そうだったが。
たくさんならべられている料理に、セルゲイが感嘆をあげた。
「ほう、こいつはすごいな……誰が作ったんだ？」
キーアが説明する。
「んとね、その匠風オムライスはノエル！　こっちの龍老炒飯がリーシャで、あっちの煮出し魚鍋はソーニャだよ！」
「……煮出し魚鍋か」



セルゲイは唇の端をゆるめ、小皿に分けて、煮出し魚を口にした。
「……懐かしい味だな」
「ふふ、本当に覚えてるのかしら？」
ソーニャが苦笑していた。
ワジがテーブルの端に、酒瓶とグラスをならべる。
「人が多いし、僕はバーテンの真似事でもしようかな」
「ちょっと、ワジ君、ここ警察署だよ⁉」
「わきまえてるよ、ノエル。ノンアルコール・カクテルも作れるさ。これなんかオススメだよ」
手際よく作られたのは、《ベルベリージュース》だった。
アルコールは使われていない様子だから、と飲んでみて、ノエルは目を丸くする。
「す、すごい！　美味しい……とっても甘いのに、すっきりしてて」
「ふふ……そうだろ？」
キーアが、ロイドに声をかける。
「ねえ、そろそろ、ケーキを出そうよ！」
「えっ⁉　ケーキまで、ちゃんと作れたのか⁉」
「えへへっ！　セシルが手伝ってくれたもん。キーアもがんばってかわいくしたんだよ」
「そいつは楽しみだな。よし、丁寧に運んでこよう」

「俺も手伝うぜ」
ロイドとランディで厨房からテーブル中央へ誕生日ケーキを運んだ。
キーアが書いたというメッセージ入りの手作りケーキを前にして、セルゲイが目頭を押さえる。
「クク……まったく、おまえたちは……」
「すごいです。プロ顔負けですよね」
リーシャが褒めると、セシルが頬を赤くした。
「前に失敗してから、何度か作ってみたから……少なくとも、味のほうは普通だと思うわ」
「普通じゃない味のケーキを作っちゃったんですか……？」
「甘くないケーキになっちゃったことがあるの」
セシルが小さく舌を出す。
「そういや、そんなこともあったな」
昔のことを思い出したらしく、セルゲイが苦笑していた。
玄関がノックされる。
ダドリーは振り向いた。
「むっ……バニングス、まだ来客があるのか？」
「え？　いえ、俺の知ってるかぎり、これで全員だと思いますけど」

「では、誰だ？」
　ダドリーが玄関扉を開けると、マイクを持ったグレイス記者と、カメラを構えたレインズが入ってきた。
「こんばんはー‼　クロスベル通信(タイムズ)です！」
「帰れ」
「うわっ⁉　ダドリー捜査官……どうして支援課に⁉　まさか、出向ですか？」
「わ、私が支援課に出向するものか！　今は記者など入れるわけにはいかんのだ」
「ええー⁉」
「まったく、どこから嗅ぎつけてきた？」
「ふっふっふっ……記者としての直感が、なにかあると……こう、ピュキーンと」
「とにかく帰れ」
「うあ～、わかりました！　じゃあ、記事にしませんから！　その交換条件でどうですか⁉」
「つまり……追い返したら記事にするわけか……その約束、守ってもらうぞ？」
「もっちろん！」
　ずいずいと奥に入ってくる。
「うふふん♪　あ、セルゲイ課長、お誕生日、おめでとうございます！　つまらないものですけど、これ」

「お、おう……そっちは、最近、大活躍じゃねえか？」
「いや～、新市長体制になって、あれこれ大激変ですから書くことが多くて多くて」
「だろうな。それなのに、こんな小さなことに時間を使っていいのか？」
「ん～、なにがあっても、支援課からは目を離さないほうがいい気がするんですよね……ま、私の記者としての勘ですけど」
「ククク……期待に添えるといいがな」
「うふふふっ……」
　記者魂の宿った瞳が、めらめらと燃えていた。
　盛りあがっているグレイス記者にカメラマンのレインズが耳打ちする。
「あの～、グレイス先輩……」
「なに、レインズ君？」
「これ記事にしないって約束なら、写真は撮らないほうがいいですよね？」
「うーん、たしかに、ここで撮影すんのは、ちょっとね……でも、せっかく来たのになにもしないんじゃ、甲斐がないでしょ？」
「いや、僕はべつに……」
「そうだ！　集合写真を撮りましょうよ！　プリントしたら感光クオーツごとセルゲイ課

長に渡すわ。それでどう⁉」
「ククク……まぁ、俺が決めることじゃねえな」
「どう⁉」
　今度はダドリーが尋ねられた。
「やはり、ここはお前が決めるべきだろう、バニングス」
「俺ですか⁉」
　すこし考えてから、ロイドがうなずく。
「……うん……撮られたくない事情のある人は映らなければいいんだし、撮ってもらおう。こんなふうに集まれるのは、とても貴重なことだと思うから」
　エリィとティオも同じ気持ちのようだ。
「大切な思い出だもの、残せたらうれしいわ」
「……キーアが、がんばってくれたことも記録されますね」
「えへへっ！　写真とるの⁉　やったあ！」
　キーアが両手を挙げた。
　他の参加者たちもかまわないとのことで、みんなしてケーキの前にならんだ。
　レインズが、どこから持ってきたか脚立にのぼり、角度をつける。

「グレイス先輩、レフ板、もうちょい高くお願いします」
「ぐぐぐ……もう、これ以上は背が伸びないってのー！」
「がんばってください。あきらめないのが記者魂だって、いつもグレイス先輩が言ってるじゃありませんか」
「うぐ〜」
　撮影になった途端、上下の立場が逆転して、すっかりアシスタント扱いのグレイスだった。
　レインズがカメラを構える。
「いいですか、撮りますよ〜、3、2、1、はい。ありがとうございました！」
　撮影が終わり、ほわっとした空気になる。
　そのとき、ロイドのエニグマに着信があった。

　懐から取り出して、カバーを開く。
「やあ、フラン……え？　なんだって⁉　そんなことになったら……くっ‼」
　ロイドの様子から、大変な事態が起きたことは、すぐ推測できた。

「ああ……わかった……すぐ現場に向かう！」
　ロイドが通話を終える。
　ダドリーはスーツの上着を羽織り、装備（インペリアル）を確認した。
「バニングス、今度こそ事件のようだな⁉」
「はい！　ジオフロントの扉が故障して開いたままになり、住宅街に多数の魔獣が現れているそうです！」
「なんだと⁉　捜査一課としても放っておけない事態だ。よし、特務支援課、合同強制捜査だ！　私についてこい！」
「了解‼」
「市民の避難もしないと」
　エリィの言葉に、ティオがうなずく。
「……逃げ遅れた人の探索（サーチ）は任せてください」
「よっしゃ！　とっとと片付けようぜ‼」
　ランディがスタンハルバードを肩にかついだ。
　ノエル曹長が進み出る。
「あたしも協力します！　装備は最低限しかありませんが、市民の誘導ならできますから！」

「そうね……警備隊の軽装甲車なら、ジオフロントの魔獣にも対抗できると思うわ」
　ソーニャ副司令が直々に承諾してくれた。
　ダドリーはうなずく。
「願ってもない！　協力、感謝する！」
　こんなときだというのに、ワジが動じることなくカクテルを作っていた。
「やれやれ……相変わらず落ち着かないね。まぁ、僕は帰りを待つことにするよ。まさか、これでお開きじゃないだろ？」
　ロイドが笑みをこぼす。
「もちろん、できるだけ早く退治してくるよ……支援課ビルには、課長もツァイトもいるから大丈夫だと思うけど、セシル姉やリーシャたちを頼む」
「ja（ヤー）．他ならぬ君の頼みだ、引き受けよう」
　セシルとリーシャが、心配そうに見つめていた。
「気をつけてね、ロイド。ケガしないで帰ってきて」
「ロイドさん、お気をつけて……」
「ありがとう！」
　それから、ロイドはキーアの頭をなでた。
「ごめんな……ちょっと行ってくる」

「うん。がんばってね、ロイド！」
出動に際しても、セルゲイは黙って見ているだけだった。
なにも命令しない。
ただ、視線を交わして、互いにうなずく。
信頼しているのだとわかる。
これが支援課の流儀なのか――とダドリーは思った。
ロイドたちは自分で考え、自分が信じる道を全力で進んでいく。
ダドリーのやり方とは違う。
しかし、彼らを認める気持ちは以前よりも強くなっていた。
ロイドが扉を開ける。
「さあ行こう！　みんな！」
仲間たちと表に出るロイドの後ろ姿に――ダドリーは、彼の兄ガイ・バニングスを重ねる。
「ふっ……いや、まだまだ遠いな。しっかりと私が指導してやらねば」
夜のとばりに包まれた街を守るため。
事件の現場へと走りだすのだった。



月刊FALCOM MAGAZINE Vol.181

発行人	田中一寿
発行協力	日本ファルコム株式会社
編集	小渕智幸 河野崇
デザイン・DTP	株式会社 ACQUA
表紙ロゴデザイン	荻窪裕司（デザインクロッパー）
発行	株式会社フィールドワイ 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1-9　日光ビル3F TEL 03-5282-2211（代表） http://www.field-y.co.jp/